

特定非営利活動法人 楽園. Com Presents

ISLAND CUP NAGASAKI 伊王島 2018
実施概要書

2018年6月10日(日)

■■■ SUP及びマリンスポーツ現状及び実施目的 ■■■■■



Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)は、その頭文字をとって「SUP」(サップ)と呼ばれている近年世界中で急激に人気が高まっているウォーター・アクティビティです。

日本に導入されたのは約10年ほど前ですが、ここ数年飛躍的に競技人口や趣味でされる方が増えております。

ボードに立ってバランスを取りながら、パドルで水を漕ぐだけ！

SUPのボードはサーフボードと比較すると浮力が高いため、安定性が抜群で、乗るのは簡単。性別・年齢に関係なく初めての方でも容易に楽しめます。また、ボード上で、バランスを取ることで、インナーマッスルが鍛えられると、フィットネス効果が注目されています。気軽に海、川、湖、運河等の様々なシチュエーションで遊べます。水上散歩はもちろんのこと、SUPの楽しみ方は多様化しています。

都心の川に繰りだしてクルージングをしたり、ボード上でヨガやピラティスをして心と体を鍛えたり、子どもや犬をボードに乗せてゆったりツーリングしたり、魚を追いかけて船ではリーチしにくい場所での釣りをしたり、レースに参加したり、もちろん海で波乗りも。これまでにはないあらゆる水上での楽しみ方が広がっています。

ここ伊王島でも昨年よりレンタルとスクールを始め人気のアクティビティとなっております。

長崎県は海に囲まれてるにもかかわらずマリンスポーツが定着しておらず子供たちも経験する機会もありません。海遊びを活性化させるために市民マラソンのような誰でも参加でき、また体験やレースを通じて広めていくことが地域活性、子供たちの育成、一流のアスリートを育てるきっかけになると考え企画いたしました。

老若男女参加できカヤックやSUPの体験、ビーチでの食事や音楽を楽しみながらレース見学も出来るイベントにと考えております。

将来は国際的なレースとファンイベントが合体したマリンスポーツの祭典になり、オリンピック選手が長崎から出てほしいと思っております。



